

[ PRESS RELEASE ]

2005 年 9 月 26 日

富士通フロンテック株式会社  
株式会社高見沢サイバネティックス

### 富士通フロンテックと高見沢サイバネティックスが資本提携

～金融機関や流通業界向け次世代 CRU（硬貨還流機）を共同開発へ～

富士通フロンテック株式会社（以下、富士通フロンテック）と、株式会社高見沢サイバネティックス（以下、高見沢サイバネティックス）はこのほど、富士通フロンテックが高見沢サイバネティックスの株式の一部を取得することで合意しました。今回の資本提携により、両社は金融機関や流通業界向けの次世代 CRU\*を共同で開発し、より高品質で競争力のある製品を提供していきます。

\*CRU：Coin Recycle Unit 硬貨還流機

富士通フロンテックは現在、高見沢サイバネティックスにトータリゼータ市場向けの自動券売機などに搭載される CRU 等の開発・製造を委託しています。この関係をさらに深め、相互に、より高品質な製品を提供し、市場競争力の強化を図るため、富士通フロンテックは 9 月 26 日に高見沢サイバネティックスの株式 50 万株（同社の全株式の 5.52%、367,500,000 円）を取得しました。

高見沢サイバネティックスは、世界初の多能式券売機を開発するなど、鉄道券売機市場や金融機関向けに自動券売機や各種端末機を独自に開発・販売しています。一方、富士通フロンテックは、金融機関向け ATM、流通業界向け POS やセルフチェックアウトシステムその他、公営競技場向けシステム製品（トータリゼータ関連機器）を幅広く提供し、トータルなソリューションビジネスを展開しています。今回の資本提携により、両社が持つノウハウや技術力を相互に補完・活用することができます。

さらに、今後は金融機関においてもリサイクル型現金入出金機を搭載した端末機の需要が予測され、流通業界においてもリサイクル型つり銭機の需要が期待できます。これらに対応して、富士通フロンテックの紙幣処理技術と高見沢サイバネティックスの硬貨処理技術を融合した製品を共同開発することにより、両社で新たな事業分野を開拓することが可能となります。

以 上

### 【富士通フロンテック株式会社の概要】

代表者：代表取締役社長 宮澤達士

本社所在地：東京都稲城市矢野口 1776 番地

創立年月日：昭和 15 年 11 月 9 日

従業員数：1,770 名（2005 年 3 月 31 日現在）

資本金：84 億 5,750 万円

売上高：870 億円（2005 年 3 月期）

主要製品：金融システム製品（ATM、営業店端末、手のひら静脈認証装置、金融イメージ処理機器、公営競技場向けシステム製品、メカコンポーネント、金融ソリューション、ATM ソリューション、金融サービスソリューション）

流通システム製品（POS 端末、セルフチェックアウトシステム、ハンディターミナル、RFID 関連製品、手のひら静脈認証セキュリティシステム、流通ソリューション、サービスソリューション）

産業・公共システム製品（公共用表示システム、医療機関向けシステム、オークションシステム、各種表示ユニット、金型および精密切削加工部品）

### 【株式会社高見沢サイバネティックスの概要】

代表者：代表取締役社長 高見澤和夫

本社所在地：東京都中野区中央 2-48-5 中野平和ビル

創立年月日：昭和 44 年 10 月 1 日

従業員数：421 名（2005 年 3 月 31 日現在）

資本金：7 億 70 万円

売上高：123 億円（2005 年 3 月期）

主要製品：交通システム機器（自動券売機、自動精算機、自動改札装置、データ集計機、定期券印刷発行機、ライナー整理券発行機、乗車券発行システム、団体券発行機、回数券発行機、他）

メカトロ機器（紙幣識別ユニット、紙幣処理装置、電子検銭ユニット、硬貨処理装置、硬貨計算機、コインホッパー、カード処理装置、カード搬送ユニット、印刷装置、他）

特機システム機器（入退場管理システム、券自動発売機、券印刷発行機、カード発売機、セキュリティゲート、自動ゲート、コインゲート、計測震度計、無停電電源装置、オープン温度試験槽、DC/AC アダプター、突入電流測定器、他）

報道関係お問い合わせ先

富士通フロンテック株式会社

企画広報室

電話：042-377-2544（直通）

E-mail: frontech-ir@cs.fujitsu.com

株式会社高見沢サイバネティックス

総括本部総務部

電話：03-3227-3361（直通）

E-mail: soumu@tacy.co.jp